



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3765 URL https://www.gungho.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0財務経理本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	67,633	△17.6	19,055	△25.3	19,183	△25.5	11,523	△31.4
2019年12月期第3四半期	82,041	32.8	25,503	47.7	25,735	47.7	16,805	58.5

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 12,608百万円 (△28.2%) 2019年12月期第3四半期 17,555百万円 (59.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	168.62	167.80
2019年12月期第3四半期	238.25	236.93

(注) 2019年7月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、2019年12月期の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	112,751	98,780	80.9
2019年12月期	105,008	90,765	80.9

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 91,240百万円 2019年12月期 84,912百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 2019年7月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、2019年12月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	95,210,316株	2019年12月期	95,210,316株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	27,337,973株	2019年12月期	25,529,818株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	68,340,518株	2019年12月期3Q	70,538,267株

(注) 2019年7月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、2019年12月期の期首に株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- ・2020年11月13日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書(第3四半期連結累計期間)	5
四半期連結包括利益計算書(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

日本におけるゲーム市場は、モバイルゲーム市場の緩やかな拡大と家庭用ゲームソフトの好調な販売に支えられ、2019年の国内ゲーム市場は前年比3.8%増加の1兆7,330億円※<sup>1</sup>となりました。一方、世界におけるゲーム市場も引き続き成長を続け、スマートフォンの普及拡大に加え、家庭用ゲーム市場やPCオンラインゲーム市場も成長を続け、2019年の世界ゲームコンテンツ市場は前年比19.1%増加の15兆6,898億円※<sup>1</sup>となりました。しかしながら、2020年に入り新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動が停滞し、一部では持ち直しの動きが見られるものの、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、主にスマートフォン向けゲーム「パズル&ドラゴンズ」（以下「パズドラ」）及び「Ragnarok M: Eternal Love」の売上高が前年同期比で減収となりましたが、当社では引き続き「新規価値の創造」に向けグローバル配信を見据えたゲーム開発に注力すると共に、「既存価値の最大化」を図るため各ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大やゲームブランドの強化に取り組んでまいりました。

既存ゲームにつきまして、「パズドラ」は引き続き長期的にお楽しみいただくことを主眼に、新ダンジョン等の追加やゲーム内容の改善、他社有名キャラクターとのコラボレーションなど、継続的にアップデート及びイベントを実施し、MAUは引き続き堅調に推移いたしました。その結果、「パズドラ」は2020年8月3日に国内累計5,500万ダウンロードを突破しております。「ラグナロク マスターズ」は、サービス開始から1周年を記念したイベントの開催により、MAUは引き続き安定的に推移しております。

新規ゲームにつきまして、2020年6月25日※<sup>2</sup>にサービスを開始したNintendo Switch™向け対戦ニンジャガムアクションゲーム「ニンジャラ」は、2020年9月24日から初のコラボレーションイベントを実施し、2020年10月29日には新たなマップや武器等が実装されるシーズン3を開始するなど、ユーザー層の拡大に取り組んでまいりました。2020年10月25日には、世界累計500万ダウンロードを突破しております。

子会社の事業につきまして、GRAVITY Co., Ltd.（以下GRAVITY）及びその連結子会社が配信している「Ragnarok M: Eternal Love」は継続的なアップデート及びイベントの開催により引き続き安定的に推移しております。GRAVITYは2020年7月7日から韓国でスマートフォン向けゲーム「Ragnarok Origin」のサービスを開始し、好調に推移しております。また、2020年5月28日からGRAVITYの連結子会社がタイでサービスを開始したPCオンラインゲーム「Ragnarok Online」も堅調に推移し、業績に貢献いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は67,633百万円（前年同期比17.6%減）、営業利益19,055百万円（前年同期比25.3%減）、経常利益19,183百万円（前年同期比25.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益11,523百万円（前年同期比31.4%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

※1 ファミ通ゲーム白書2020

※2 日本標準時

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における資産合計は、112,751百万円（前連結会計年度末比7,743百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、13,971百万円（前連結会計年度末比270百万円減少）となりました。これは主に、未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、98,780百万円（前連結会計年度末比8,014百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対応のため、当社グループでは各国の外出規制等の要請に従い、在宅勤務等を実施したことから、新規タイトルの開発及び一部の既存タイトルの運営が平時と比較して滞ったことや、各種イベントの中止等により広告宣伝施策への影響はあったものの、現時点では当連結会計年度の業績への影響は限定的であり、今後の動向を引き続き注視すると共に、情報収集と臨機応変な対応を継続して行っております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	86,225	89,718
売掛金	6,775	9,999
有価証券	282	759
商品	3	2
仕掛品	43	180
その他	1,525	1,660
貸倒引当金	△16	△37
流動資産合計	94,840	102,282
固定資産		
有形固定資産合計	746	738
無形固定資産		
ソフトウェア	265	2,443
ソフトウェア仮勘定	3,287	1,562
その他	124	140
無形固定資産合計	3,678	4,147
投資その他の資産		
投資有価証券	72	56
繰延税金資産	2,669	2,322
その他	3,000	3,205
投資その他の資産合計	5,742	5,584
固定資産合計	10,168	10,469
資産合計	105,008	112,751

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,303	4,722
1年内返済予定の長期借入金	125	212
未払法人税等	4,086	1,499
賞与引当金	8	19
その他	5,803	6,047
流動負債合計	13,327	12,501
固定負債		
長期借入金	148	302
その他	766	1,167
固定負債合計	914	1,469
負債合計	14,242	13,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,487	5,487
利益剰余金	159,046	168,475
自己株式	△84,678	△87,618
株主資本合計	85,194	91,683
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△282	△443
その他の包括利益累計額合計	△282	△443
新株予約権	862	953
非支配株主持分	4,991	6,586
純資産合計	90,765	98,780
負債純資産合計	105,008	112,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	82,041	67,633
売上原価	38,792	30,430
売上総利益	43,248	37,202
販売費及び一般管理費	17,745	18,147
営業利益	25,503	19,055
営業外収益		
受取利息	121	77
為替差益	112	—
雇用調整助成金	—	159
その他	34	87
営業外収益合計	269	324
営業外費用		
支払利息	20	16
自己株式取得費用	13	7
為替差損	—	167
その他	2	4
営業外費用合計	37	196
経常利益	25,735	19,183
特別利益		
関係会社株式売却益	89	—
特別利益合計	89	—
特別損失		
減損損失	40	439
投資有価証券評価損	—	14
特別損失合計	40	453
税金等調整前四半期純利益	25,784	18,730
法人税、住民税及び事業税	7,371	5,456
法人税等調整額	167	309
法人税等合計	7,538	5,765
四半期純利益	18,245	12,964
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,440	1,440
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,805	11,523

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	18,245	12,964
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△690	△355
その他の包括利益合計	△690	△355
四半期包括利益	17,555	12,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,440	11,363
非支配株主に係る四半期包括利益	1,115	1,245



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。